

## 臨床研究に関する情報公開について

西暦 2019 年 8 月 27 日 Ver. 1

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんおひとりずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人が特定できる情報は削除します。また、研究の成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際にも個人が特定できる情報は公表しません。

ご自身の診療情報を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問合せなどがある場合には、以下の「問合せ先」へご照会ください。研究への不参加を申し出られた場合にも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名：	大腿膝窩動脈病変に留置した VIABAHN stentgraft の閉塞、狭窄後の経過 Clinical course of restenosis/occlusion VIABAHN for femoropopliteal lesions
実施診療科：	医療法人財団荻窪病院 循環器内科
研究期間：	西暦 2019 年 9 月 3 日～西暦 2020 年 12 月 31 日
研究目的と意義：	大腿膝窩動脈病変を有する症候性の閉塞性動脈硬化症に対して、ステント治療後に再閉塞、再狭窄した時の処置方法と、その後の臨床的経過を検討することを目的としています。
研究内容：	<p>●対象となる患者さん</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2016 年 11 月から 2018 年 12 月までに大腿膝窩動脈病変を有する症候性の閉塞性動脈硬化症に対してステント治療後に、再狭窄、再閉塞のあった患者さん。</li><li>・治療後 6 か月以上の経過観察を行った患者さん。</li></ul> <p>●利用するカルテ情報</p> <p>患者背景：年齢、性別、身長、体重、高血圧・糖尿病・脂質異常症の有無、喫煙歴、透析の有無、冠動脈疾患・脳血管疾患の有無、抗凝固薬剤の使用状況、下肢閉塞分類、閉塞時の状況</p> <p>ステント留置術：ステントの直径と長さ</p> <p>再狭窄治療：血栓溶解の有無、閉塞部位、血栓吸引の有無、バルーン拡張術の有無（バルーンの直径と圧）、ステント留置の有無（ステントの名前、直径と長さ）、手術の有無など</p> <p>●研究方法</p> <p>カルテから情報を収集します。</p>
問合せ先：	<p>【研究責任者】</p> <p>医師名：加畑 充 医療法人財団荻窪病院 循環器内科 住所：〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24 電話：03-3399-1101 (代表)</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（本研究に関する相談窓口）</p> <p>窓口：加畑 充（医師） 小金井 博士（医師）</p> <p>電話：03-3399-1101 (代表)</p> <p>受付時間：月～金 8：30～17：00（土・日・祝・祭日を除く）</p>